

令和2年度 小林市立南小学校 自己評価書

NO. 3

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営
ビジョン

○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。
— かしこく やさしく たくましく —

〈体 育〉

○ 体力の向上と健康安全に向けて行動する子どもの育成

評価項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	具体的な数値目標	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析及び改善策
				取組別	総合	
体 育	1 体力向上の推進	○ 鍛える体育学習 ・運動時間の確保 ・新体力テスト県平均以上項目 50%以上 ◎ 運動の日常化	○ 本年度は新体力テストは実施できなかったため、各学級・学年での体育科学習の充実を図る。 ○ 体育科授業での運動量の確保、持久走月間、なわとび月間の実施、外遊びの奨励等を行い、運動の日常化を推進させ、体力の向上を図る。	2	3	・コロナ感染対策により実施できない行事があったが、実施方法を工夫しながら取り組める範囲で実施できた。 ・来年度も状況を見ながらの取組になることを想定していく。各学級での取組の強化を図るようにする。
	2 立腰指導と正しい鉛筆の握り、箸使いの徹底	○ 時と場に応じた立腰指導の徹底 ○ 指使いグリップの有効活用、正しい鉛筆握り 90%以上	○ 姿勢写真の各教室への掲示を行い、よい姿勢を意識させる。 ○ 始業、終業時の立腰指導の徹底を図る。 ○ 1年児童へ指使いグリップの活用の推進を図る。	3		・始業、終業時の立腰は意識が高い。継続して取り組みたい。
	3 保健・衛生的な生活習慣の定着	○ 早寝早起き朝ごはん ◎ 保健諸検査後治療率 80%以上…養教と担任、保護者との連携	○ 保健だよりによる「早寝早起き朝ごはん」の啓発を行うとともに、けんこうチェックカードで「朝ごはん」の確認を行う。 ○ う歯について、養護教諭による各学級での歯みがき指導、治療勧告、毎月の治療率の表示を行う。	3		・コロナ感染予防の「けんこうチェック」で朝ご飯摂取の有無が確認できた。 ・う歯の治療率がここ数年では高い治療率となった。
	4 「自分の命は自分で守る」意識の醸成	◎ 安全・防災意識を高める指導の徹底	○ 各種避難訓練（風水害、地震、火事）の実施、みやざきシェイクアウトの参加等により、防災意識を高める。	3		・児童の避難の様子から防災意識の高まりが見られる。

